

特集 足の外科領域の疾患とそのケア

足の外科領域の看護 —病棟と外来—

菅谷絵里奈¹⁾，篠崎絵美²⁾，斉藤寛之³⁾，地代所真弥⁴⁾

- 1) 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 外来副師長
- 2) 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 外来主任看護師
- 3) 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 病棟主任看護師
- 4) 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 病棟看護師

Point

- ▶ 個別性に合わせ手術前後のアセスメントと病棟・他職種との連携を実践する
- ▶ 「歩けない」ことへの看護の視点を理解する
- ▶ 手術後，退院を見据えた関わりの重要性を理解する
- ▶ 手術後の管理状況，ADL・QOL 状況に合わせた支援・指導を実践する

はじめに

足の外科の対象となる疾患・外傷として，変形性足関節症や外反母趾，距骨壊死・損傷，シャルコー足，リスフラン関節脱臼・骨折，内反足など，1次性関節症や2次性関節症およびリウマチ，糖尿病などの慢性疾患に伴う変形性疾患，先天性疾患などがあります。足の疾患では，長期に及ぶ痛みやADL・QOL低下による問題を抱える患者も多く，足疾患の局所だけでなく全身状態や在宅状況を含めた情報収集とアセスメントを行う必要があります。また，高齢者や複数の疾患を持つ患者

も多く，手術前から手術侵襲や手術後のリスクをアセスメントすることも看護師の重要な役割の1つです。

手術適応となった患者は，入院中に安全・安楽に療養生活を過ごせるための看護の提供が必要となります。さらに，入院前後において外来—入院病棟—地域との連携も必要となり，情報共有が必須です。1人ひとりの患者が安心して手術を受けられることができ，手術後のADL・QOLが改善することを目標に看護を実践しています。

外来看護（通院中）

外来では，毎日多くの患者が受診するため，1人ひとりの患者に十分な時間をとることは困難ですが，診察前の問診時や処置準備の時間を患者とのコミュニケーションや情報収集の時間と捉えて対応します。紹介状や問診票を参考にしながら，歩行状況や変形に伴う痛み，胼胝・潰瘍形成の有

無，ADL・QOL 状況，セルフケア状況，居住環境，既往歴や服薬状況，理解力，キーパーソン，職業（仕事内容，学生，育児，介護）などの情報収集を行います。手術予定が決定した場合は整形外科術前チェック表（表1）を活用し，手術を安全に迎えられるように，さらには手術後の在宅調整の必

表1 整形外科術前チェック表

| | | | |
|-----|---------|---------------------------------|--------------------|
| 入院日 | 月 日 () | 身長 | cm |
| 手術日 | 月 日 () | 体重 | kg |
| 実施日 | 実施確認印 | 項目 | |
| | | HIV 同意書 | 血圧 |
| | | 入院手続き | mmHg |
| | | 入院前アンケート | 脈 |
| | | 支援センター | 回/分 |
| | | 常用薬確認 | SpO ₂ |
| | | 薬手帳スキャン | % |
| | | 抗血栓薬 (有・無) | 呼吸 |
| | | 薬剤名: () | 回/分 |
| | | 休薬 (有・無) | 体温 |
| | | 休薬開始日 (月 日 ~) | ℃ |
| | | 免疫抑制剤 (有・無) | <既往歴> |
| | | 薬剤名: () | |
| | | 休薬 (有・無) | <アレルギー (有・無) > |
| | | 休薬開始日 (月 日 ~) | |
| | | ホルモン剤 (有・無) | <住居環境> |
| | | 薬剤名: () | |
| | | 休薬 (有・無) | |
| | | 休薬開始日 (月 日 ~) | |
| | | 術前検査 | <在宅サービス> |
| | | 同意書お渡し | 介護保険申請: 未・済 () |
| | | (手術同意書・肺塞栓症・血漿分画 輸血 (自己血採血)) | サービス利用: 無 有 () |
| | | 麻酔科診察 (有・無) | <家族構成・キーパーソン> |
| | | 麻酔科質問票・麻酔説明用紙お渡し | |
| | | 器具 (PTB・オルソウェッジ・他) | |
| | | ソーシャルワーカー依頼 | |
| | | 看護師オリエンテーション | |